

進路だより

光陵中学校
第3学年
2005.3.07
第54(最終)号

公立高等学校合格発表の日(3月23日)について

3月23日(水)午前10時に公立高等学校の合格者の発表が行われます。

合格発表の方法

各高等学校に次のように掲示されます。

- ・ 受検番号に続いて「本校に合格」または「相手校に合格」と表示されます。

(受検番号がなければ、合格校がなかったということです。)

より近い学校に行けばよい

第1志望校に出かけてもらうのが、よいかと思えます。ただし、

2校受検者は、より近い学校だけに行けば結果が分かります。

例えば、瀬戸窯業高校と瀬戸北高校を受検した人は、近くにある瀬戸窯業高校に行けばいい。

自分の受検番号に続いて「本校に合格」「瀬戸窯業高校に合格」

「相手校に合格」「瀬戸北高校に合格」という意味です。

君たちは、掲示を見たらまっすぐ家に帰ってください。

(三好高校受検者については例外です。3月15日に別途連絡をします。)

合否を確認した結果・・・

合格校のある人

合格通知書や連絡文書を配布します。

日時 3月23日 午後1時(登校は12:45~12:55)

場所 光陵中学校柔剣道場

持ち物 カバン、筆記用具、面接報告書(1~2枚=受検した学校の分)

卒業式と同じように、きちんとした身なり・服装で!

次の各校の推薦入試合格者もこの時間に登校してください。

入学手続きなどに関する文書を配布します

瀬戸、瀬戸西、瀬戸北、瀬戸窯業、旭野

合格校のない人

担任の先生から電話連絡をします。

日時 3月23日 午後2時ごろ~3時ごろ

電話連絡があるまでは必ず自宅で待機してください。

(保護者の方ともお話をする必要があります。よろしくお願いします。)

保護者のみなさまへ

過去に「先生にお礼が言いたい」ということで学校に電話をしてくださる方がいらっしゃいました。お気持ちはありがたいのですが電話での連絡はご遠慮ください。申し訳ありません。

定時制高等学校を受験する人へ

3月17日に願書開始です。出願や入試の事前指導などを卒業式以降の日におこないます。(詳細は後日電話等で連絡します。)入試は3月29日、合格発表が31日です。

なお、出願の締切は24日(全日制合格発表の翌日)の午後3時です。

2次募集の受験(検)について

前号にも書きましたが、公立、私立とも**受験資格があるのは、「今年度、国公立高等学校のいずれかを受験(検)し、そのいずれにも合格していない者」**です。(専修学校の合格者も同時に卒業資格を得られる高等学校の通信制課程に合格しているので受験(検)資格はありません。)

公立高校2次募集の**募集人員発表**は3月23日の午後2時頃。出願締切は25日の午後1時。

入試が29日(定時制入試と同じ日です)におこなわれ、**合格発表**は30日です。

私立高校2次募集については、案内が中学校に送られてくる予定です。

詳しいことについては、担任の先生を通じて係までお問い合わせ下さい。

木曜日がBグループの学力検査です。

3日に、受験に関する事前指導を行いました。受験票の裏に書いてある注意や、各校から配布された文書をもう一度きちんと読んでおいて下さい。(注 学校によっては「スリッパ」を用意することと書いてあることがあります、中学校で使った上靴でいい。)

翌日朝刊に問題が掲載されます(インターネット上ではその日の内に問題が掲載されるホームページもあるようです)。

受験しなかった人も必ず問題を解いてみてください。Aグループ受検者にとっては、直前の練習になりまし、**「Aグループの問題がかなり予想できる」という意味でも重要**です。

すでに進学先が決まっている人にとっても**「義務教育の内容がどの程度理解できているか」を知る目安**になります。公立高校の推薦合格者の人に特に強調したいのは、「この問題を受検した人が近い未来の同級生になる」ということです。

3月31日までは光陵中学校の生徒です。

卒業式は3月8日です。しかし、願書などに記入したように**卒業の日付は3月31日**です。(実際、進路の決まっている人はまだ約3分の1の人だけです。何か困ったことがあれば中学校や担任の先生に連絡を取ってください。(プリント「卒業式後の生活について」参照)

卒業おめでとうございます。そして 1年間ありがとうございました。

卒業おめでとうございます。義務教育9年間がまもなく終了です。

小中学校は、世の中に出るために最低限必要な知識と体力、そして常識を身につける場所でした。4月からは自分で選んだ道に各自が進んでいくこととなります。

仕事に就く人は他の人よりもはやく「給料」をもらう立場になります。仕事に対する責任、お客さんに対する責任があります。あなたの「働き」が評価されます。「忘れました、すみません」では、許されない立場になります。甘っちょろい高校生たちとはまったく違う立場になります。誇りを持って仕事に取り組んでください。

進学する人へ。これまでも書きましたが**入学することが最終目標ではなかったはず**です。今の自分では不十分だから何かを身につけるためにそれぞれの学校で学ぼうと決めたはずです。

中学校時に比べてものすごく勉強している卒業生がいます。商業科進学の数ヶ月先にコンピュータ室にやってくる表計算のソフトを使いこなしてみせた卒業生がいます。もう一度別の学校を受験する(した)卒業生がいます。卒業の数年後に受験する卒業生がいます。「やっぱり が勉強したい」と考えたのだと思います。「何のために学ぶのか。」目標を見失わないでください。

自分の人生は、自分で決めていく。中学校の「進路指導」では、このことを学んで欲しかったのです。

20年後、「まだ知らないあなたの家族」と

どんな生活をしていたいと思いますか。

先日の窯業定時制の卒業式では、君たちの4つ年上の先輩が「卒業生代表」として挨拶をしました。

昨年度卒業生の就職した会社の方が、彼の働きぶりに感心され「今年もいい生徒さんを…」と連絡をくださいました。それぞれの場で、がんばっている卒業生のことを聞くと、先生たちはとてもうれしいのです。みなさんの朗報を楽しみにしています。1年間この「進路だより」におつきあいいただき、ありがとうございました。(河地)